

テーマ：『 「心をつなぐ教育」を推進する理科・環境教育の研究 』

平塚市立 岡崎小学校

Tel. 0463-58-0158

担当者： 一安義昭



#### ■実践内容：

岡崎小学校では「心をつなぐ教育」を学校目標として掲げ、人や自然とふれあうための様々な教育活動を設定する中で、“認め合い”“学び合い”“助け合い”という「心をつなぐ」場面を意図的・計画的に創り出してきました。この一年間の活動は主に次のようなものです。

##### ① 体験活動

- ・学年園での栽培活動(1年さつまいも、2年トマト・トウモロコシ、3年キュウリ・ホウセンカ・マリーゴールド、4年ひょうたん、5年卡ボチャ、6年じゃがいも)
- ・動物とのふれあい活動(2年地域の豚舎見学、学校の飼育小屋ではウサギと烏骨鶏を飼育)
- ・地域の田んぼを借りての米作り(5年：平成19年度はうるち米「さとじまん」、平成20年度はもち米を栽培)
- ・イチゴから種を取り、種まきからのイチゴ栽培(H20年度は希望児童全員に種を配布)
- ・学校内でたくさん実る梅を使った梅ジュース作り(12年)

##### ② 奉仕活動

- ・全校除草(年2回実施、内1回は親子で！)
- ・全校縦割りによる地域清掃活動(年1回、地域主導の通学路清掃は年2回)

##### ③ 環境ISO活動

- ・全学年による省エネ活動(電気)・省資源活動(水)の取り組み(エコクリーン委員会)

##### ④ 環境整備活動

- ・学校池の整備(職員が中心)
- ・実のなる木の整備(現在、梅・ザクロ・ぎんなん・柿・なつめ・びわの6種類)

#### ■実践成果：

「心をつなぐ教育」という学校教育目標のもと、地域教材を開発したり、地域人材の活用を図ったり、奉仕活動をしたり、校内環境を整備したり、環境ISO活動を展開したりする中で、人と自然のふれあいを意識した活動を推進してきました。地域の豚舎へのふれあい訪問、農協の方に直接指導をいただきながらの米作り、平塚特産のイチゴの栽培、キュウリ作りの苦労をお聞きした農家の方のお話会等、岡崎の地域性も十分に生かせたと思います。子ども達に自分たちのふるさとである岡崎に少しでもふれさせられたことが一番の成果と考えています。

#### ■実践ポイント：

実践のポイントはなんといっても「子どもは地域で育てる」という基本理念です。地域に根ざした教育は貴重です。地域の宝である子ども達の教育を地域の方々と共有し、力を合わせて共育(ともいく)していくためにも、地域に学び、地域で学び、地域を学ぶ教育を確立し推進していくことが今一番求められているのではないのでしょうか。